



Press Release

オルガノ株式会社 〒136-8631 東京都江東区新砂 1-2-8
問合せ先 機能商品本部 機能商品事業部 鈴木 TEL.03-5635-5191
経営統括本部 経営企画部 七海、竹井 TEL.03-5635-5111
Eメール：info@organo.co.jp

2017年6月26日

ラボラトリー向け新型純水・超純水製造装置 発売のお知らせ

オルガノ株式会社は、分析や研究に用いられるラボラトリー向けに

純水製造装置「ピュアライト PR-α (アルファ) シリーズ」
超純水製造装置「ピューリック FP-α (アルファ) シリーズ」

の販売を 2017年6月26日に開始いたしました。

オルガノが得意とするイオン交換技術を中心とした水処理技術の粋を集め、

高水質、徹底した菌管理、ランニングコストの低減、高いデザイン性を実現した卓上型純水・超純水製造装置の決定版です。

【背景】

オルガノグループは、安定的に高い収益を確保できる企業への成長に向け、標準型水処理装置をはじめとする機能商品事業の拡大を目指しています。

小型の標準型水処理装置の主要市場は、研究機関や教育機関、病院、企業の研究開発部門などのラボラトリー分野であり、当社も本分野向けにすでに超純水装置ピューリックω（オメガ）などの差別化製品を中心に事業を展開しています。

しかしながら、ラボラトリー分野においても今後はバイオサイエンス関連をはじめとして新たな市場とニーズが立ち上がりつつあり、求められる水処理装置にも高度で多様な機能が求められるようになってきていることから、当社も新しい製品の開発に注力してまいりました。



(左から)
PR-α、純水タンク、FP-α、ディスペンサー

【製品の概要】

純水装置 ピュアライト PR-α シリーズ	
処理流量	15 L/hr
処理水質	0.2 μS/cm 以下
ラインナップ	ニーズや用途にあわせた 3 機種 (JIS K0557 A4 [※] 準拠品もラインナップ)

※ 日本工業規格 (JIS K 0557) 「用水・排水の試験に用いる水」で規定されている化学分析用水の 4 種別 (A1～A4) のうち、微量成分の分析に求められる最も水質項目が厳しい種別。

超純水装置 ピューリック FP-α シリーズ	
採水量	1 滴～2 L/min
処理水質	18.2 MΩ・cm 以上 TOC 1～3 ppb
ラインナップ	バイオサイエンス用、微量分析用、一般化学用の 3 機種

共通仕様	
本体寸法	幅 354 mm×奥行 335 mm×高さ 448 mm
純水タンク	10 L/20 L から選択可能 [※] UV 殺菌装置搭載可能
ディスペンサー	UV 殺菌装置搭載可能 (最大 3 台まで)

※ 60 L/100 L 純水タンクもラインナップ予定です。

【特長】

- ✓ 業界最高クラスの低 TOC 超純水<FP-α シリーズ>
超々純水用の次世代型イオン交換樹脂の採用、タンク循環機構の採用により効率的に TOC を業界最高クラスの 1～3ppb まで低減しました。また、1 滴からの採水が可能で、高度な分析・研究にも威力を発揮します。
- ✓ 徹底した菌対策が可能 (オプション) <PR-α シリーズ、FP-α シリーズ共通>
超純水ラインの酸化 UV 以外にも純水タンク、ディスペンサーに新型 UV を搭載可能。バイオサイエンス関連研究用途にも安心してお使いいただけます。
- ✓ ランニングコストの低減<PR-α シリーズ、FP-α シリーズ共通>
交換部品の低価格化を追求し、ランニングコストの低減を図りました。
- ✓ 高いデザイン性<PR-α シリーズ、FP-α シリーズ共通>
ラボラトリー環境の調和を図るため、純水、タンク、超純水、ディスペンサーをコンパクトな共通デザインとしました。
- ✓ 信頼性が高い国内製造品<PR-α シリーズ、FP-α シリーズ共通>
日本国内の高い製造技術を活かし、日本の水道水の特徴に合わせた国産品です。

【売上目標】

2020 年度に売上高 4 億円を目指します。

【今後の取組み】

今回の新型純水・超純水装置の発売により、バイオサイエンス関連研究や有機化合物分析等を中心としたラボラトリー市場向けの拡販とシェア拡大に努めます。

また、従来から当社が水処理プラントを納入している民間企業のお客様におきましては、用水、排水処理・回収に研究用途を加えることで、水にかかわるトータルソリューションを実現します。

なお、2017 年 6 月 28～30 日に東京国際展示場（東京ビッグサイト）で開催される「第 1 回バイオ医薬 EXPO」においてピュアライト PR-α、ピューリック FP-α の実機を出展いたしますので、ぜひお立ち寄りください。（西ホール ブース No.W17-7）

以 上

※プレスリリースの内容は発表時のものです。予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。